

SYSTEM AND METHOD FOR ORDERING AND DELIVERING ARTICLE

Publication number: JP2001014393

Publication date: 2001-01-19

Inventor: EBIHARA TORU; ENDO KAZUHIRO

Applicant: HITACHI LTD

Classification:

- international: G06F3/048; G06F3/00; G06F13/00; G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; G09B29/00; G06F3/048; G06F3/00; G06F13/00; G06F17/30; G06Q10/00; G06Q30/00; G09B29/00; (IPC1-7): G06F17/60; G06F3/00; G06F13/00; G06F17/30; G09B29/00

- European: G06Q10/00D

Application number: JP19990183090 19990629

Priority number(s): JP19990183090 19990629

Also published as:

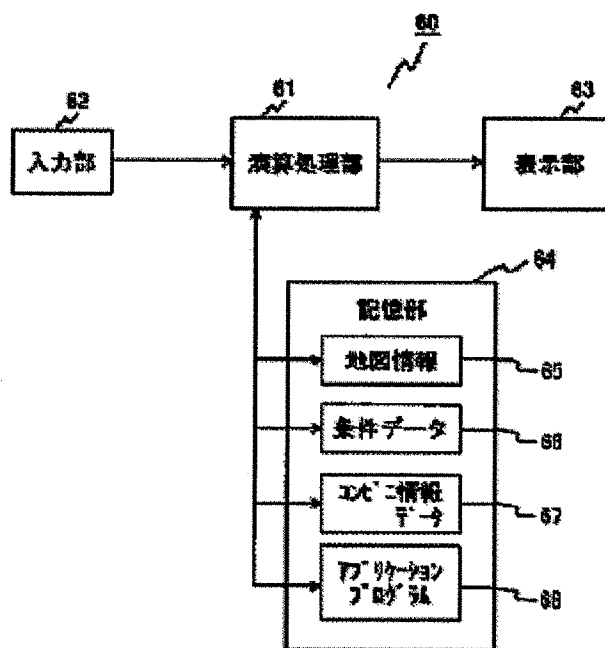
US6985874 (B1)

Report a data error here

Abstract of JP2001014393

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system capable of selecting a specified article relay point from map information by retrieving a map including a store dealing in, which is located closest to a client, within an area on the basis of the address information of the client, displaying the map on a home page or virtual shop and defining the store dealing in selected by the client as the destination to deliver an article.

SOLUTION: The map including the store dealing in, which is located closest to the client, in the area is retrieved on the basis of the address information of the client and displayed on the home page or virtual shop and the store dealing in selected by the client is defined as the destination to deliver the article. In this system, when a convenience store is selected as a place to receive the article, a map information display part 60 displays the map including convenience stores around the house of the client on the home page on the basis of the address or telephone number of the client. A storage part 64 of the map information display part 60 is provided with a map information part 65, a store-dealing-in information part 67 and a map retrieval application 68 or the like for retrieving the map, which includes the closest convenience store, and displaying it on a display part 63 on the basis of address information such as address or postal code applied from the client.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-14393

(P2001-14393A)

(43) 公開日 平成13年1月19日 (2001.1.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	3 3 0 2 C 0 3 2
3/00	6 5 1	3/00	6 5 1 A 5 B 0 4 9
13/00	3 5 5	13/00	3 5 5 5 B 0 7 5
17/30		G 0 9 B 29/00	A 5 B 0 8 9
G 0 9 B 29/00		G 0 6 F 15/40	3 7 0 C 5 E 5 0 1
審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 11 頁)			

(21) 出願番号 特願平11-183090

(22) 出願日 平成11年6月29日 (1999.6.29)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 海老原 徹

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72) 発明者 遠藤 和広

茨城県土浦市神立町502番地 株式会社日

立製作所機械研究所内

(74) 代理人 100074631

弁理士 高田 幸彦 (外1名)

最終頁に続く

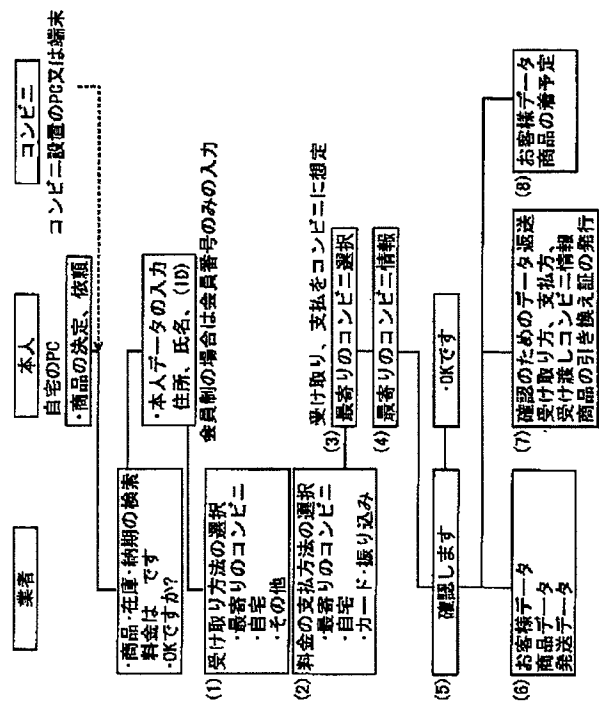
(54) 【発明の名称】 商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法

(57) 【要約】

【課題】 商品中継所の選択に際し、地図情報から特定の商品中継所を選択可能な商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法を提供する。

【解決手段】 商品販売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達システムにおいて、複数の地図を体系化したデータを地図情報として保持する地図情報部と、商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を住所情報から検索可能な地図情報表示部を備え、顧客の注文を受ける際に、顧客が最寄の取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の前記住所情報に基づき顧客の最寄に位置する取扱店を領域内に含む地図を検索し、前記ホームページまたは前記仮想店舗に表示し、顧客が選択した取扱店を前記商品の配達先とする。

図 5



【特許請求の範囲】

【請求項 1】商品販売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達システムにおいて、

複数の地図を体系化したデータを地図情報として保持する地図情報部と、商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を住所情報から検索可能な地図情報表示部を備え、

顧客の注文を受ける際に、顧客が取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の前記住所情報に基づき顧客の最寄に位置する取扱店を領域内に含む地図を検索し、前記ホームページまたは前記仮想店舗に表示し、顧客が選択した取扱店を前記商品の配達先とすることを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 2】商品販売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が端末を介して商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達システムにおいて、

複数の地図を体系化したデジタルデータあるいはイメージデータを地図情報として保持する地図情報部と、商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を検索可能な地図情報表示部を備え、

顧客の注文を受ける際に、顧客が前記取扱店を商品の配達先として選択した場合、前記端末を介して顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を前記取扱店情報と共に表示し、顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とすることを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 3】前記商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店が、コンビニであり、

前記取扱店情報が、前記コンビニの概要や商品、サービスに関する広告情報を含むことを特徴とする請求項 2 記載の商品の発注、配達システム。

【請求項 4】前記取扱店情報として、当該コンビニの概要や商品、サービスに関する広告情報を、前記ネットワークに接続されたコンビニのコンピュータシステムまたは端末を介して入力可能としたことを特徴とする請求項 3 記載の商品の発注、配達システム。

【請求項 5】前記地図情報は、ネットワークを介して与えられる外部のデータベースを利用するものであることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の商品の発注、配達システム。

【請求項 6】前記取扱店情報は、取扱もしくは仲介可能な各コンビニの所在地のデータとして、前記地図情報の各地図上の座標に対応した位置情報や店名等のデータを含み、指定された地域の地図上に当該地域内のコンビニを重ねて表示することを特徴とする請求項 2 に記載の商品の発注、配達システム。

【請求項 7】前記商品について契約が成立した場合、過去のデータにより定められた納品日程を考慮して予め定められた納品日程の雛形を参照して、前記契約の条件により納品日程を決めて納品日程を作成し、前記取扱店有の場合は、所定期間内に検品情報の有無を監視し、電子メールを利用して日程管理を定期的に行う日程管理システムを備えたことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の商品の発注、配達システム。

【請求項 8】商品販売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達方法において、

端末を利用して顧客から商品を受注する際に、顧客が取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、該地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を表示し、

顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先として設定することを特徴とする商品の発注、配達方法。

【請求項 9】前記地図と共に、前記取扱店の商品、サービスに関する広告情報を表示することを特徴とする請求項 8 記載の商品の発注、配達方法。

【請求項 10】前記商品について契約が成立した場合、過去のデータにより定められた納品日程を考慮して予め定められた納品日程の雛形を参照して、前記契約の条件により納品日程を決めて納品日程を作成し、前記取扱店有の場合は、所定期間内に検品情報の有無を監視し、電子メールを利用して日程管理を定期的に行うことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の商品の発注、配達方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法に係り、特に、インターネット等のネットワーク上に仮想の店舗を開設し、商品の通信販売等を行うオンラインショッピングのための、商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット等の利用者が増加するにつれて、これらのネットワークを通じてホームページや

10

20

30

40

50

仮想店舗上で商品を紹介し、その通信販売を行うオンラインショッピングシステムが普及してきた。顧客はネットワークを介してこの商品の注文を行う。例えば、特開平9-288696号公報や特開平10-224549号公報にそのようなシステムが開示されている。

【0003】このようなオンラインショッピングのための、商品の発注、配達システムとして、特開平10-214284号公報には、顧客への商品の引渡しを容易にし、商品の発送を効率的にするために、商品の配送先として、顧客の居所またはこの居所に近い最寄の商品中継所、例えばコンビニエンスストアを選択可能にしたものが提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】最近ではコンビニエンスストア（以下コンビニ）の数も増え、新規に開店するコンビニや閉店するコンビニも多くなっている。このような開店や閉店の情報が地図等の形でデータベース化されるまでには時間がかかり、データベースの情報に基づいて最寄のコンビニを選択することは、時として顧客に不便を強いることにもなりかねない。

【0005】従って、顧客が商品中継所として最寄のコンビニを選択する場合、最新のコンビニ状況に基づき、顧客にとって最適のコンビニを選択できるようにすることが望ましい。

【0006】また、特定のコンビニを指定しようとする際に、そのコンビニの店名や住所、電話番号を調べてこれを端末から入力することは困難である。仮に、住所や店名を端末から入手できたとしても、自分が指定しているコンビニであるかを即座に確認することは困難である。

【0007】また、コンビニでは、顧客の商品発注、受け取りに際して、コンビニ自体の情報を提供することができれば、宣伝効果を期待できる。

【0008】一方、商品販売業者にとって、商品の配達先としてコンビニを加えることは、管理が複雑になり、逆にサービス低かになる可能性もある。

【0009】本発明の目的は、商品中継所の選択に際し、地図情報から特定の商品中継所を選択可能な商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法を提供することにある。

【0010】本発明の他の目的は、顧客の商品発注、受け取りに際して、コンビニ自体の情報を提供することができるようにした商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法を提供することにある。

【0011】本発明の他の目的は、商品販売業者にとって管理が複雑にならず、サービスの低下をきたすことのない商品の発注、配達システム及び商品の発注、配達方法を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明の特徴は、商品販

売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達システムにおいて、複数の地図を体系化したデータを地図情報として保持する地図情報部と、商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を住所情報から検索可能な地図情報表示部を備え、顧客の注文を受ける際に、顧客が取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の前記住所情報に基づき顧客の最寄に位置する取扱店を領域内に含む地図を検索し、前記ホームページまたは前記仮想店舗に表示し、顧客が選択した取扱店を前記商品の配達先とすることにある。

【0013】本発明の他の特徴は、前記商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店が、コンビニであり、前記取扱店情報が、前記コンビニの概要や商品、サービスに関する広告情報を含むことにある。

20 【0014】本発明の他の特徴は、商品販売業者によりネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、顧客が商品の配達先を選択可能な商品の発注、配達方法において、端末を利用して顧客から商品を受注する際に、顧客が取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、該地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を表示し、顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とすることにある。

30 【0015】本発明の他の特徴は、前記商品について契約が成立した場合、過去のデータにより定められた納品日程を考慮して予め定められた納品日程の雛形を参照して、前記契約の条件により納品日程を決めて納品日程を作成し、前記取扱店有の場合は、所定期間内に検品情報の有無を監視し、電子メールを利用して日程管理を定期的に実行することにある。

40 【0016】本発明によれば、顧客は、商品の発注に際して商品の受け取り先を、取扱店、例えばコンビニの常に最新の状況に基づき、最適の取扱店を選択できる。従って、顧客にとって最適の取扱店を仲介して都合の良い時に、商品を受け取ることができる。また、商品販売業者は、商品の配達サービスの向上により顧客を確保することが期待できる。特に、商品の配達先が顧客と商品販売業者の双方に都合の良い取扱店となるため、定期便の利用などが可能になり、各個人宅に配達するのに比べて配達業務を簡略化し、コスト低減を図ることができる。

50 【0017】また、コンビニ等の取扱店では、配達された商品を受け取りにきた顧客がその店の商品、サービス

も購入することを期待でき、顧客の確保を図ることができる。また、顧客の商品発注、受け取りに際して、コンビニ等取扱店自体の情報を提供する機会が多くなり、宣伝効果を期待できる。

【0018】さらに、電子メールを利用して日程管理を定期的に行うことにより、商品販売業者にとって管理が複雑にならず、サービスの低下をきたすことのない商品の発注、配達システム、方法を提供することができる。

【0019】

【発明の実施の形態】本発明の商品発注、配達システムの具体的な実施の形態について、以下、図を用いて説明する。ここでは、インターネット利用の通信販売システムとして、ネットワーク上に仮想の店舗から成る電子モールを開設し、個人（顧客）からの商品発注を受けて、顧客に配達するシステムを説明する。

【0020】図1は、本発明の全体的な構成例を示すブロック図である。個人（顧客）の端末1は、パーソナルコンピュータから成り、モデム等を使用してプロバイダ2に接続し、インターネット等のネットワーク3にアクセスできるようになっている。ネットワーク3には、コンビニエンスストア（以下コンビニ）本部Aのコンピュータシステム4や、商品販売業者の販売管理用コンピュータシステム5も接続されている。

【0021】コンビニ本部のコンピュータシステム4は、コンビニA内の専用ネットワークを介して系列の各コンビニの端末6（6A～6N）に接続されている。この専用ネットワークには、複数のコンビニ本部A、…、Nのコンピュータシステム4A～4Nが接続されている。また、ネットワーク3には、複数の商品販売業者（A～N）の販売管理用コンピュータシステム5A～5Nが接続されている。各商品販売業者の販売管理用コンピュータシステム5は、専用ネットワークを介して発送管理用のコンピュータシステム7に接続され、さらに、配送業者のコンピュータシステム8やコンビニ内の専用ネットワークに接続されている。また、ネットワーク3には、地図情報等の各種情報を提供するデータベース会社のコンピュータシステム9も接続されている。

【0022】各コンビニの端末6（6A～6N）として、個人（顧客）の端末1に相当する機能を備え、顧客が自由に利用できる端末も設置されている。端末6は、本体内に、CPU、入力装置、ディスプレイ、記憶装置、プリンタ、カメラなどを備えている。

【0023】他の端末やコンピュータシステムも、同様にCPU、入力装置、記憶装置、プリンタ、ディスプレイ、通信制御装置、入出力制御部等を備えている。コンビニ内のコンピュータシステムや各端末は、POSシステムも備えている。入力装置は、入力パネルや補助入力装置を含み、入力パネルとディスプレイは対をなすタッチスクリーンとして構成されている。

【0024】記憶装置には、表示制御、印刷制御、通信制御等のCPUで実行される各種プログラムと各種コマンド、コンビニを含む地図情報、表示属性を含むデータが記憶されている。さらに、入力装置から入力された各種データ及び通信制御装置を介して受信したデータなども記憶されている。

【0025】また、画面制御に関する操作として、ディスプレイの画面の操作、拡大、縮小、移動、切り替えなどを行うことができる。例えば配達先の選択に関するメニューやアイコンなどをマウスでクリックすると、コンビニを含む地図に関するポップアップメニューが表示され、このメニューの中の1つを選択し、かつ、選択されたメニューに基づいて必要なデータを入力することができ、または当該選択されたメニューに基づいてさらに下位のメニューが表示される。

【0026】商品販売業者の販売管理用コンピュータシステム5やコンビニ本部のコンピュータシステム4は、電子モールの機能を有し、商品に関する固有のホームページを提供する。図2に、コンピュータシステム5により提供され、ネットワーク3上で仮想の店舗を構成する管理用の端末装置としての電子モールの例を示す。この電子モールは、ネットワークに接続された商品販売業者のファイアウォール51、WWWサーバ52、モールサーバ53、データベースサーバ54、データベースサーバ中に設けられた注文データファイル55を含むデータベース、注文通知制御部56、及び地図の地図情報ファイルを含む地図情報表示部60により構成される。

【0027】図3に、コンピュータシステム5の地図情報表示部60の構成例を示す。この地図情報表示部60は、商品の受け取り場所としてコンビニが選択された場合、顧客の住所や電話番号を基に、顧客の自宅周辺のコンビニを含む地図を、ホームページ上に表示するものである。地図情報表示部60は、演算処理部61、入力部62、表示部63及び記憶部64から構成される。記憶部64は、地図情報を保持する地図情報部65、各地図を住所や電話番号などから検索するための条件を与える条件データ部66、取扱もしくは仲介可能な取扱店としてのコンビニ系列店やその所在地、広告情報などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部67、及び、顧客から与えられた住所や郵便番号などの住所情報に基づいて最寄のコンビニを含む地図を検索し、表示部63に表示するための地図検索アプリケーション68を含む。

【0028】地図情報部65には、全国の各地域を夫々カバーする1/2500、1/5000等の縮尺の地図やこれより広い領域あるいは狭い領域をカバーする地図（例えば市販のいわゆる住宅地図や道路地図）を体系化したもののデジタルデータ（数値地図）あるいはイメージデータ等を地図情報として保持する。地図情報には、少なくとも道路、地名、町名、建物等を表す地図が含まれる。地図の任意の場所を原点として2次元座標管理が

行われ、地図上の各点では座標(x、y)が与えられている。記憶部64に保存される地図情報は、その中の特定区域の部分地図を表示部63に表示することができ、地図の上の各点には一義的に座標が与えられる。

【0029】地図情報としては、市販の地図で取扱店であるコンビニの建物や名称を含むものをそのまま使用するのが望ましい。しかし、常に正確に最新のコンビニの情報を、市販の地図情報を得るのは困難な場合も考えられる。そこで、取扱もしくは仲介可能な各コンビニの所在地のデータとして、上記地図情報と連携して、地図上の座標(x、y)に対応した位置情報や店名等のデータを作成し、取扱店情報部67に保持する。そして、表示部63において、座標(x、y)をキーにして指定された地域の地図上にコンビニを重ねて表示する。

【0030】地図情報は、逐次、データネットワーク3を介してデータベース会社からの最新の地図情報等が取り込まれる。常にインターネットを介して地図情報を検索するようにして、地図情報部65を省略するかあるいは記憶部64の容量を縮減しても良い。

【0031】コンビニの概要や商品、サービスに関する広告情報は、コンビニ本部のコンピュータシステムや端末6から入力され、取扱店情報として取扱店情報部67に記憶される。この広告情報は両者が当該コンビニを選択したとき、コンビニ名などと共にホームページ上の画面に表示される。

【0032】WWWサーバ52は、HTTPプロトコル中に記述されたCGI(コモンゲートウェイインタフェース)と呼ばれるプログラムを起動し、情報の発信や顧客からのデータの受け入れ等を制御する部分である。また、WWWサーバ52は、モールサーバ53が依頼を受けた個人(顧客)の商品情報をデータベースからネットワークに送り出す。データベースサーバ54は、顧客から受けた注文情報を処理し、注文データファイル55に格納する処理を行う部分である。注文通知制御部56は、注文を受けた商品に関する情報をコンビニや配送業者に対しての通知書として作成し、専用ネットワークを介して送信する部分である。

【0033】商品販売業者の端末では、WWWサーバ52で受けた顧客からの注文情報をデータベースの注文データファイル55に受注番号とともに格納した後、適当なタイミングでこれらの情報をまとめて取り出し、通知書として、顧客や各配送業者及びコンビニの端末に対し専用ネットワークを介して送信する。

【0034】顧客は、商品販売業者のデータベースにある商品情報をホームページから受け取る。そして、顧客が顧客端末1を操作して、ホームページに対し注文を行うと、商品販売業者のデータベースの注文データファイル55にその内容が格納される。例えば、注文データファイル55には顧客名や、注文内容とその商品を扱う各コンビニや配送業者名等が格納される。

【0035】一方、注文通知制御部51は、こうした注文情報が注文データファイル55に蓄積されると、適当なタイミングで通知書を作成し、専用のネットワークを介して各コンビニや配送業者に向けて送信される。

【0036】各コンビニや配送業者の端末は、通知書5を表示器やプリンタに出力する。配送業者は、この通知書を受け取ることによって必要な商品の配送を手配し、所定のコンビニに対し商品の発送等の業務を行う。

【0037】次に、図4のフローチャートにより、本発明の商品発注、配達システムにおける商品の発注、配送に関する「情報」の流れと、実際の商品流れの関係を説明する。個人(顧客)は、自分の端末1または各コンビニの端末6を利用して、当該端末1が属するプロバイダー2または端末6が属するコンビニ本店のサーバーからネットワーク3を介してホームページにアクセスし、ホームページで紹介される商品情報を見て、商品販売業者の商品について発注する。すなわち、顧客がインターネット上のホームページ6にアクセスし(ステップ:400、404)、ホームページで紹介される商品情報を見て、商品販売業者の商品を発注する(ステップ406)。発注に際して、顧客は、商品の受け取り方法を指定する。

【0038】そして、注文依頼がインターネットを介してHTTPプロトコルで商品販売業者のWWWサーバ52に届く。WWWサーバ52はHTTPプロトコル中に記述されたCGIと呼ばれるプログラムを起動し処理を行わせる。ここで起動されるCGIはWWWサーバ上では何も処理を行わず、顧客の使用しているブラウザから出力された全てのデータをモールサーバ53に転送する。商品販売業者の端末では、次に、モールサーバ53が受け取ったデータを解釈し、注文情報だけをデータベースサーバ54に送り、注文データファイル55に書き込む。この注文データファイル55には、商品番号、数量、金額、顧客即ち購入者の氏名、電話番号、商品の受け取り方法等、顧客から通知された様々な情報が、受注番号とともに書き込まれる。

【0039】注文情報は、販売管理用コンピュータシステム5に専用ネットワークを介して接続された商品倉庫の発送管理用コンピュータシステム7、あるいは商品販売業者が取り引きしている製造業者の管理用コンピュータに直接送られる(ステップ416)。

【0040】次に、商品販売業者の商品倉庫、あるいは製造業者から、商品を特定の配送業者(自社配送部門含む)を介して指定された商品の受け取り方法に沿って発送するための手配を行う。もし、商品の受け取り先がコンビニである場合には、そのコンビニへ発送するための手配を行う(ステップ418)。また、注文通知制御部は注文データファイル55から所定のデータを読み出し、指定されたコンビニへコンビニ本部を介して所定の形式の通知書が送信される。(ステップ410、41

2)。また、この実施の形態では、前記配達業者へは前記商品倉庫または製造者の管理用コンピュータシステムに対し所定の形式の通知書が送信される(ステップ419)。配達業者は、必要に応じて、ネットワーク3に接続されたデータベース会社の地図情報等を参照して、指定されたコンビニへ商品を配達する(ステップ420、422)。なお、この実施の形態では、配達業者が指定されたコンビニに直接配送することで説明したが、各コンビニの配送センターに持ち込むことでもよい。これにより、配達業者は注文をまとめて配送できる。

【0041】コンビニには、配達業者が配達する前に前記通知書がコンビニの端末6に通知される。コンビニでは、この通知を基に、配達業者が配送する商品が注文情報に相当する商品であるか検品し、顧客及び商品販売業者に商品の到着を連絡する(ステップ414)。そして、コンビニで商品が顧客に引き渡され、(ステップ415)、また、納品伝票の写しが商品販売業者に手渡される。

【0042】なお、商品の受け取り先がコンビニ以外の場合については、通常の方法で、商品の配送がなされる。

【0043】次に、図5ないし図13を参照して、個人(顧客)の端末1あるいは各コンビニの端末6から、商品の受注を行う場合の操作フローと処理画面を説明する。ここで、図5は顧客本人と販売業者及びコンビニの操作フロー図、図6から図13は各操作画面の一実施の形態を示している。

【0044】先ず、顧客がインターネット上のホームページにアクセスし、ホームページで紹介される商品情報を見て、商品販売業者の商品を発注する(ステップ501)。発注に際して、顧客は、商品の在庫、納期、商品番号、数号、金額、電話番号などを確認した(ステップ503)後、本人のデータ、即ち購入者の氏名、住所、IDを入力する(ステップ505)。会員制の場合は、本人のデータとして会員番号のみでも良い。これらの操作は極一般的な操作画面でよく、ここでは省略する。

【0045】次に、ホームページ上で、商品の受け取りに関する画面に進む(ステップ507)。例えば、この実施の形態では図6に示すような商品の受け取り方法の選択画面を表示する。ここでは、商品の受け取り場所として、(1)コンビニ、(2)自宅、(3)その他が表示される。次に、料金の支払い方法に関する画面に進む(ステップ509)。例えば、図7に示すように、料金の支払い方法として(1)コンビニ、(2)自宅、

(3)カードが表示される。(以下の説明は、商品の受け取り場所及び料金の支払い方法として、いずれもコンビニが選択された場合について行う。)

ここで、上記図6、図7の表示画面は、商品の選択後に引き続いて表示されるものであって、各表示画面には、画面下部に、現在の表示画面の操作を取り消して前の表

示画面に戻すための戻り操作ボタン551と、選択された操作ボタンを決定して次の操作に進ませる決定ボタン(OK)552が設けてある。そして、前記決定ボタンの操作により更に次の表示画面が表示され、これにより各種情報を対話形式で入力することができる。

【0046】図6において、商品の受け取り場所として(1)コンビニが選択され、図7にて料金の支払い方法が決定された場合、地図情報表示部60により、図8に示すように、地図情報や取扱店情報及び顧客の住所や電話番号、郵便番号等の住所情報を基に、顧客の自宅周辺の取扱もしくは仲介可能な取扱店、例えばコンビニを含む地図が表示される。

【0047】顧客は、自分自身の知識も踏まえて、取扱もしくは仲介可能な取扱店の中で日常利用している最も都合の良いコンビニを選択すばよい。表示された地図の領域内に顧客の希望するコンビニが無い場合には、顧客の操作により、隣接あるいは上位の領域の地図が表示される。なお、表示された地図の領域内に顧客の希望するコンビニがあるにも拘わらず、地図情報や取扱店情報には、最近新規に開店したコンビニや閉店したコンビニの情報を含まないものが有りうる。最近新規に開店したコンビニが地図に表示されていない場合に備えて、特定系列のコンビニ名あるいはコンビニの所在地を指定することにより、そのコンビニの正確な情報が検索できるデータベース付の検索システムを設けても良い。

【0048】この実施の形態では、図8においては、取扱もしくは仲介可能な取扱店として、自宅周辺の地図に、例えば点灯表示などして目立つように表示される。利用者(顧客)が、仲介可能な取扱店、例えば特定のコンビニをマウスなどでクリックする、あるいはタッチパネルの表示部においてはタッチすることでコンビニ(画面上のx、y座標)を指定することができる。

【0049】地図情報表示部60は、前記操作に基づいて、地図情報から指定された仲介可能な取扱店であるコンビニの名所及び住所データあるいは整理番号を抽出するとともに、地図情報ファイルから、このコンビニの概要データ、例えば図9に示すような画像データと呼び出して表示画面に表示する。この実施の形態では、地図情報表示部60に仲介可能な取扱店となるコンビニの詳細データを蓄積している。これにより、地図情報表示部60は、顧客が特定のコンビニを選択すると、図9に示すようにそのコンビニの住所や写真などの情報が画面に表示されるので、顧客は指定したコンビニの選択に誤りがないか確認することができる。

【0050】このとき、ホームページ上の画面には、選択されたコンビニの広告情報が併せてに表示されるので、利用者はこの広告情報に基づいて、コンビニの商品を購入したりサービスの提供を受けたりすることもできる。

【0051】更に、図9の表示画面において、決定ボタ

ンを選択すると、図10に示すような、最終確認の表示画面が表示される。この確認の表示画面では、今まで入力した情報が最終確認の形式で表示される。顧客は、この段階で、誤りがあれば、戻りボタンを選択することにより、修正することができる。また、この表示画面に修正ボタンを設け、該ボタンの選択により、データ修正画面を表示させて所定のデータを修正するようにしてもよい。

【0052】顧客が図10の確認画面で、OK、の確認を出すと、これら商品の受け取り場所及び料金の支払い方法に関するデータが、受注番号を含む他の情報と共に商品販売業者の端末の注文データファイル55に書き込まれる。

【0053】そして、通知書として顧客のために図12に示すような、確認用データを返送する。この顧客確認用データには、商品の受け取り場所及び料金の支払い方法、受け取りコンビニに関する情報が含まれる。また、商品の引き換え証に相当するものも発行する。顧客は、商品の発注に際して商品の受け取り先を、最寄のコンビニを含む複数の選択肢の中から選択できる。したがって、留守がちな人でも、最寄のコンビニを仲介すれば、顧客確認用データに基づいて、24時間いつでも都合の良い時に、商品を受け取ることができる。また、在宅時間の長い人でも急用などで急に不在となるような場合があるが、最寄のコンビニを指定すればコンビニが一旦受け取ってくれるので、安心して都合の良い時に、商品を受け取ることができる。

【0054】商品販売業者のために、通知書として図11に示すような、お客様データ、商品データ及び発送データを作成し、発行する。商品販売業者は、商品の配達サービスの向上により顧客を確保することが期待できる。また、商品の配達先がコンビニとなるため定期便の利用などが可能になり、各個人宅に配達するのに比べて配達業務を簡略化し、コスト低減を図ることかできる。さらに、顧客が不在の場合の配達回数を低減でき、配達業務の効率化、コスト低減が図れる。

【0055】さらに、コンビニのために、通知書として図11、図12、図13に示すような、お客様データ及び商品の到着予定データを作成し、発行する。図11は、商品倉庫や製造業者あるいは配達業者用の通知画面または仕様書の一例であり、図12はお客様用の通知画面または仕様書の一例である。図11、図13の業務用またはコンビニ用の通知は、端末の表示画面に表示され、必要により端末から定期的に出力される。図12のお客様用は更新終了時に自動的に出力され、この出力用紙を商品の受取表とすることができる。また、この実施の形態では、図12の出力画面（出力物）に、前記地図情報表示部60に蓄積されたコンビニの詳細データを参照して地図情報や当該コンビニの概要や広告などを掲載することができる。これにより、コンビニ店自体の情報

を提供する機会が多くなり、宣伝効果が期待できる。コンビニでは、配達された商品を受け取りにきた顧客がコンビニの商品も購入することを期待でき、顧客の確保を図ることができる。また、顧客の商品発注、受け取りに際して、コンビニ自体の情報を提供する機会が多くなり、宣伝効果が期待できる。

【0056】次ぎに、本システムにおける日程管理システムについて説明する。この実施の形態では、顧客の約束した納品日程を管理するために、コンビニからの検品データ、あるいは必要により前記商品倉庫／製造業者、運送業者からのデータを入手する日程管理システムを導入している。図14は、その日程管理システムのフローを示している。

【0057】先ず、モールサーバ53は、契約が成立すると、過去のデータ（場所、納品物などの違いにより係った日程）により定められた納品日程を考慮して予め定められた納品日程の雛形を参照して、契約された条件により納品日程を決めて納品日程を作成し、（ステップ601）。これに基づいて、日程管理を定期的に行う。

【0058】即ち、このシステムでは、ステップ602において、前記依頼がコンビニを仲介する否かを判断して、仲介業者がない場合、即ち、配達業者が直接お客様に配達する場合は、所定期間内に配達業者から納品情報が有るか否かを判断する（ステップ613）。そして、所定期間内に配達業者から納品情報があれば、納品管理を終了（ステップ605）し、所定期間内に納品情報が無ければ、電子メール管理部にデータを送付する（ステップ614）。この実施の形態では、販売管理用コンピュータシステム5に、電子メール管理部を設け、この電子メール管理部で、所定回数として問い合わせ回数をカウントして、所定の回数として（ステップ615）、例えば2回目であれば、お客様苦情係にデータを送付して（ステップ606）、係員が直接電話あるいはFAXで業者に問い合わせるようにする（ステップ607）。また、所定回数内であれば、予め設定された書式により、電子メールを作成し（ステップ616）、電子メールを発信する（ステップ617）。これにより、軽度の遅れについては、機械的に処理して、大きな障害について人為的に解決するようにしている。

【0059】また、ステップ602において、仲介業者が有る場合は、所定期間内に検品情報の有無が否かを監視する（ステップ603）。この場合、検品情報が無ければ、電子メール管理部に送付して電子メール作成の作業を行う（ステップ614）。

【0060】また、検品情報があれば、所定期間内に納品情報が有るか否かを監視する（ステップ604）。ここで納品情報があれば納品管理を終了する（ステップ605）。

【0061】ステップ604で納品情報がなければ、お

お客様が個人の端末で受注したか否かを判断する（ステップ608）。個人端末からの依頼でなければお客様／業者の苦情処理係りにデータを送信して（ステップ606）、人為的に電話またはFAXでお客様に品物を取りくすることを促すようにする（ステップ607）。

【0062】また、ステップ608で個人端末からの依頼と判断された場合は、電子メール管理部にデータを送信する。そして、電子メール管理部では、前記ステップ615、616、617及び606、607で説明したと同様な処理をステップ609からステップ612及び

ステップ606、607で行うようにする。

【0063】なお、以上述べた実施例では、コンビニが、商品の取扱もしくは仲介可能な取扱店としての機能を有する。しかし、取扱店は、全国を広範囲にかつ細かくカバーするもので、かつ、営業時間の長いものであれば他の業種の店舗、営業所であっても良い。例えば、ガソリンスタンドのチェーン店などでも良い。

【0064】なお、本発明は、以上述べたインターネット利用の通信販売システムに限らず、顧客が対話形式で商品

【0065】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、顧客が商品中継所として取扱店、例えば最寄りのコンビニを選択する場合、最新の取扱店状況に基づき、顧客にとって最適の取扱店を選択できるようにした商品の発注、配達システムを提供することができる。

【0066】また、顧客の商品発注、受け取りに際して、コンビニ等の取扱店自体の広告情報を提供する機会が多くなり、宣伝効果を期待できる。

【0067】さらに、電子メールを利用して日程管理を定期的に行うことにより、商品販売業者にとって管理が複雑にならず、サービスの低下をきたすことのない商品の発注、配達システム、方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例になる商品の発注、配達システムを示すブロック図である。

【図2】図1の電子モールの説明図である。

【図3】図2の地図情報表示部60の構成例を示す図である。

【図4】本発明の商品発注、配達システムにおける商品の発注、配送に関する「情報」の流れと、実際の商品流れの関係を説明するフローチャートである。

【図5】顧客本人と販売業者及びコンビニの操作フローを示す図である。

【図6】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図7】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図8】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図9】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図10】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図11】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図12】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

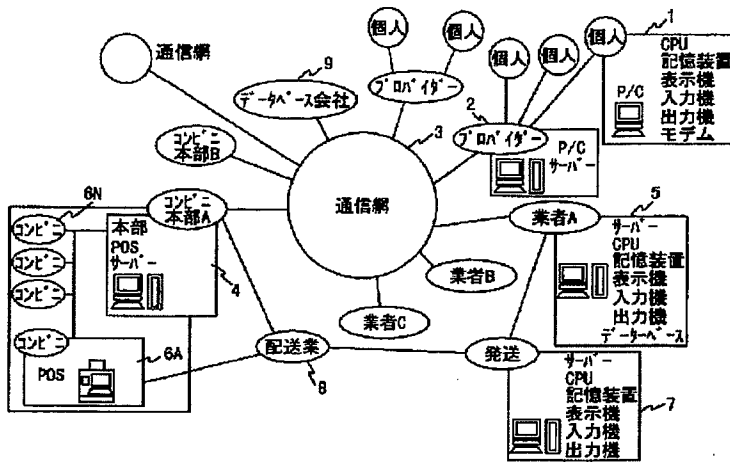
【図13】図5の各操作画面の、一実施の形態を示す図である。

【図14】本発明における、日程管理システムのフローを示す図である。

【符号の説明】

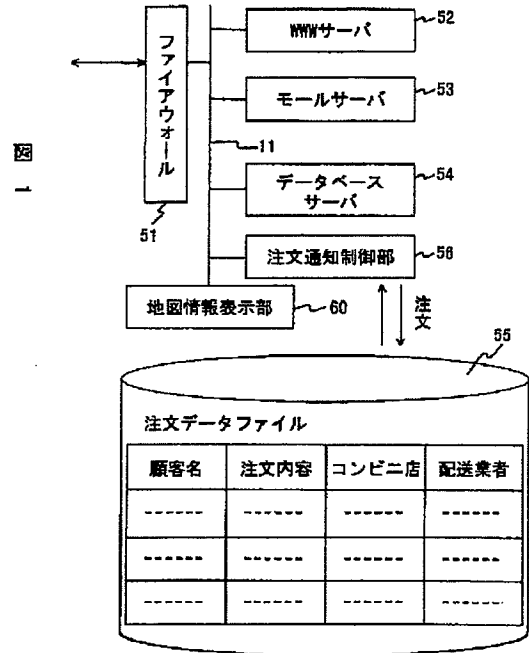
1…端末、2…プロバイダ、3…ネットワーク、4…コンビニ本部のコンピュータシステム、5…商品販売業者の販売管理用コンピュータシステム、6…各コンビニの端末、7…発送管理用のコンピュータシステム、8…配送業者のコンピュータシステム、9…データベース会社のコンピュータシステム、52…WWWサーバ、53…モールサーバ、54…データベースサーバ、55…注文データファイル、56…注文通知制御部、60…地図情報表示部、61…演算処理部、62…入力部、63…表示部、64…記憶部、65…地図情報部、66…条件データ部、67…取扱店情報部、68…地図検索アプリケーション

【図 1】



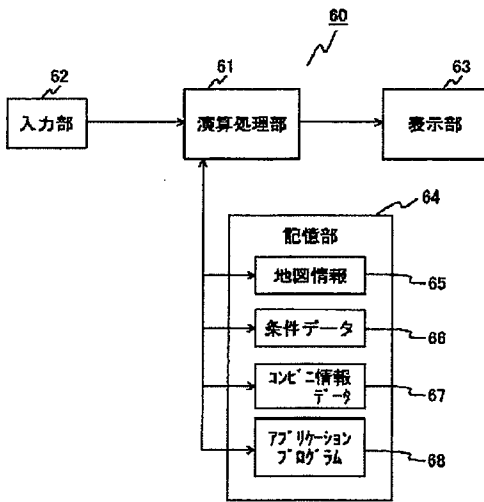
【図 2】

図 2



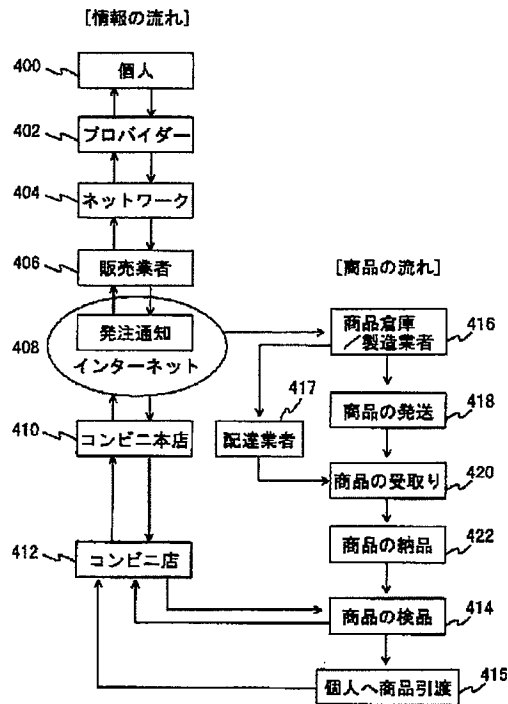
【図 3】

図 3



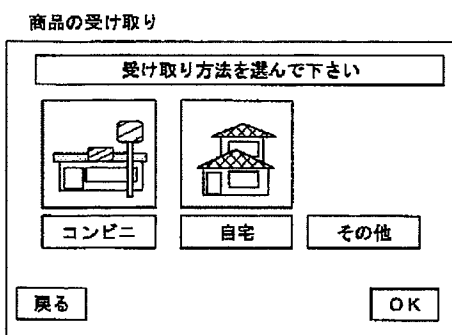
【図 4】

図 4

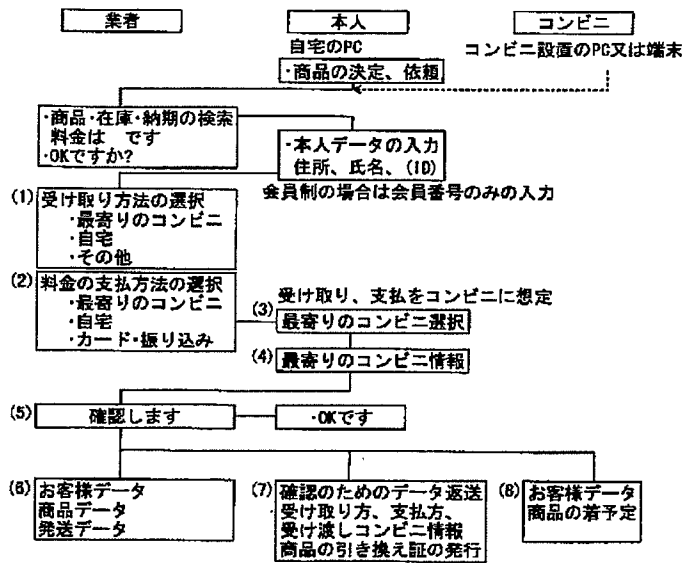


【図 6】

図 6



【図5】



【図7】

図 7

Figure 7 is a screen titled "料金の支払い方法を選んで下さい" (Please select a payment method). It shows three options: コンビニ (Convenience Store), 自宅 (Home), and カード (Card). Each option has a corresponding icon. Below the options are buttons for 戻る (Back) and OK.

【図8】

図 8

Figure 8 is a screen titled "コンビニを選んで下さい" (Please select a convenience store). It shows a map with several convenience stores marked. One store is selected, and its name is displayed. Below the map are buttons for 戻る (Back) and OK.

【図9】

図 9

Figure 9 is a screen titled "こちらのコンビニで" (At this convenience store). It shows details for a specific convenience store, including its name (コンビニ24), address (住所: 東京都...), and phone number (TEL: 0120-00-0000). There is also a section for the store manager (店長) and a note about the system being in a test phase (〇〇ウェア実証中). Below the details are buttons for 戻る (Back) and OK.

【図10】

図 10

Figure 10 is a screen titled "確認して下さい" (Please confirm). It displays the following information: 受付付けNO. (Reception number), お客様NO. (Customer number), 氏名 (Name), 住所 (Address), 商品 (Product), 数量 (Quantity), 料金 (Price), 支払 (Payment), 納品 (Delivery), 納品予定日 (Delivery date), and 備考 (Remarks). There is also a section for the convenience store details (コンビニ24, 住所, TEL). Below the information are buttons for 戻る (Back) and OK.

【図11】

図 11

Figure 11 is a screen titled "業者用の控え" (Merchant's control). It displays the following information: お客様NO. (Customer number), 氏名 (Name), 住所 (Address), 商品 (Product), 数量 (Quantity), 料金 (Price), 支払 (Payment), 納品 (Delivery), 納品予定日 (Delivery date), and 備考 (Remarks). There is also a section for the convenience store details (コンビニ24, 住所, TEL). Below the information are buttons for 戻る (Back) and OK.

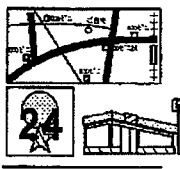
【図12】

図 12

お客様控え

お客様確認用

受付け付NO. :
 お客様NO. 098-12345678
 氏名 :
 住所 :
 商品:1.
 :2.
 納品:
 支払:コンビニ24
 納品:コンビニ24
 納品予定日:
 備考:



【図13】

図 13

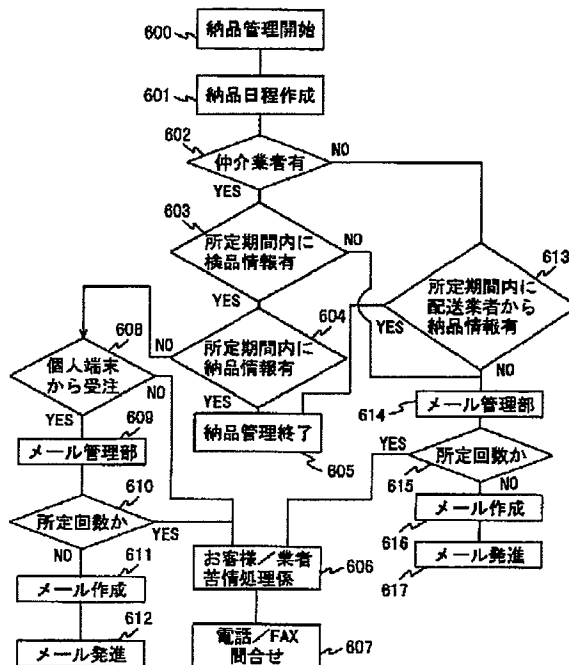
コンビニ用速報表

コンビニ用

お客様NO. 098-12345678
 氏名 :
 住所 :
 商品:1.
 :2.
 納品:
 支払:コンビニ24
 納品:コンビニ24
 納品日:
 受付け:
 納品元:
 備考:

【図14】

図 14



フロントページの続き

Fターム(参考) 2C032 HB31 HC27

5B049 AA06 BB11 BB31 CC05 DD01

EE05 FF03 GG02 GG04

5B075 ND06 PQ02 PQ32 PQ65 UU13

5B089 GA11 HA10 JA08 JA22 JA31

JB03 KB00 LA02 LB17

5E501 AA13 AB15 AC15 AC19 BA01

CA01 DA02 EA13 EA14 EB05

FA06 FA13 FA14 FA44

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成15年6月13日(2003. 6. 13)

【公開番号】特開2001-14393(P2001-14393A)

【公開日】平成13年1月19日(2001. 1. 19)

【年通号数】公開特許公報13-144

【出願番号】特願平11-183090

【国際特許分類第7版】

G06F 17/60

3/00 651

13/00 355

17/30

G09B 29/00

【F I】

G06F 15/21 330

3/00 651 A

13/00 355

G09B 29/00 A

G06F 15/40 370 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月28日(2003. 2. 28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ネットワーク上に開設された仮想の店舗へ利用者が使用する利用者端末から通信回線を介してアクセスを受け付け、
前記利用者端末に対して商品情報を提供し、
前記利用者端末から前記商品情報に基づいた商品発注を受け付け、
前記発注された商品の配達先の選択情報を前記利用者端末に提供し、
前記利用者端末から前記配達先の選択情報に基づいて選択された特定の配達先を受け付け、
選択された前記配達先が商品中継所として商品受け取り場所となる取扱店である場合、前記配達先に関する地図情報を前記利用者端末に提供し、
前記配達先情報と前記商品発注情報を商品販売者に提供することを特徴とする商品の発注、配送方法。

【請求項2】ネットワーク上に開設された仮想の店舗へ利用者が使用する利用者端末から通信回線を介してアクセスを受け付け、
前記利用者端末に対して商品情報を提供し、
前記利用者端末から前記商品情報に基づいた商品発注を

受け付け、
前記発注された商品の配達先として、予め設定された利用者端末の住所に基づいて最寄の配送仲介が可能な商品受け取り場所となる取扱店を選択肢に含んだ選択情報を前記利用者端末に提供し、
前記利用者端末から前記配達先の選択情報に基づいて選択された特定の配達先を受け付け、
前記配達先として最寄の配送仲介が可能な商品受け取り場所となる取扱店が選択された場合に、
利用者端末の住所に基づいて前記配送仲介が可能な商品受け取り場所となる取扱店が選択可能に付された地図情報を選択し、この地図情報を前記利用者端末に提供し、
前記利用者端末から前記地図情報から特定の取扱店を配達先として受け付けることを特徴とする商品の発注、配送方法。

【請求項3】ネットワーク上に開設された仮想の店舗へ利用者が使用する利用者端末から通信回線を介して商品発注を受け付けて、利用者への配送サービスを行う商品の発注、配送方法であって、
前記利用者端末に対して商品情報を提供し、
前記利用者端末から前記商品情報に基づいた商品発注を受け付け、
前記発注された商品の配達先の選択情報を前記利用者端末に提供し、
前記利用者端末から前記配達先の選択情報に基づいて選択された特定の配達先を受け付け、
選択された前記配達先が商品中継所として商品受け取り場所となる取扱店である場合、前記配達先に関する地図

情報を前記利用者端末に提供し、
前記取扱店の広告情報を含んだ関連情報を前記利用者端末に提供し、

前記配達先情報と前記商品発注情報を商品販売者に提供することを特徴とする商品の発注、配送方法。

【請求項 4】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
地図情報を保持する地図情報部と、商品の取り扱いもしくは仲介可能な商品受け取り場所となる取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を住所情報から検索可能な地図情報表示部を備え、
顧客の注文を受ける際に、顧客が商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、顧客の前記住所情報に基づき顧客の最寄に位置する商品受け取り場所となる取扱店を領域内に含む地図を検索し、
検索した前記地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に表示させるための信号を送出し、
顧客が選択した取扱店を前記商品の配達先とすることを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 5】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
地図情報を保持する地図情報部と、商品の取り扱いもしくは仲介可能な商品受け取り場所となる取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を検索可能な地図情報表示部を備え、
顧客の注文を受ける際に、顧客が前記商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、前記端末を介して顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、
検索した前記地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を前記取扱店情報と共に表示するための信号を送出し、
顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とすることを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 6】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
地図情報を保持する地図情報部と、商品の取り扱いもしくは仲介可能な商品受け取り場所となる取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を検索可能な地図情報表示部を備え、
顧客の注文を受ける際に、顧客が前記商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、前記端末を介して顧客の入力した住所情報に基づき、顧客の

最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、

検索した前記地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を前記取扱店情報と共に表示するための信号を送出し、

顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とし、前記ネットワークに接続された取扱店のコンピュータシステムまたは端末を介して入力された取扱店の概要や商品、サービスに関する広告情報を、前記取扱店情報として受け付け可能としたことを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 7】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
地図情報を保持する地図情報部と、商品の取り扱いもしくは仲介可能な商品受け取り場所となる取扱店やその所在地などの取扱店情報を記憶する取扱店情報部とを含み、前記地図を検索可能な地図情報表示部を備え、
顧客の注文を受ける際に、顧客が前記商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、前記端末を介して顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記取扱店を領域内に含む地図を検索し、
検索した前記地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を前記取扱店情報と共に表示するための信号を送出し、
顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とし、前記取扱店情報は、取り扱いもしくは仲介可能な商品受け取り場所となるコンビニエンスストアの所在地のデータとして、前記地図情報の各地図上の座標に対応した位置情報や店名等のデータを含み、指定された地域の地図上に当該地域内のコンビニエンスストアを重ねて表示する情報であることを特徴とする商品の発注、配達システム。

【請求項 8】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワークを介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
端末を利用して顧客から商品を受注する際に、顧客が商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、
顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄に位置する前記商品受け取り場所となる取扱店を領域内に含む地図を検索し、
該地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地図を表示するための信号を送出し、
顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先として設定することを特徴とする商品の発注、配達方法。

【請求項 9】ネットワーク上に構築された商品の販売に関するホームページまたは仮想店舗と、該ネットワーク

を介して顧客の注文を受け、該当する商品を顧客が指定した配達先に配達するものであって、
端末を利用して顧客から商品を受注する際に、顧客が商品受け取り場所となる取扱店を商品の配達先として選択した場合、
顧客の入力した住所情報に基づき顧客の最寄りに位置する前記商品受け取り場所となる取扱店を領域内に含む地図を検索し、
該地図を前記ホームページまたは前記仮想店舗に当該地

図を表示するための信号を送出し、
顧客が選択した特定の取扱店を前記商品の配達先とし、
前記商品について契約が成立した場合、過去のデータにより定められた納品日程を考慮して予め定められた納品日程の雛形を参照して、前記契約の条件により納品日程を決めて納品日程を作成し、
前記取扱店有りの場合は、所定期間内に検品情報の有無を監視し、電子メールを利用して日程管理を定期的に行うことを特徴とする商品の発注、配達方法。